Season2

Episode 6: Featuring the Improvements to the 9102 Rev C

|  |  |
| --- | --- |
| Susan Matson: | 皆さん、こんにちは。司会のスーザン・マトソンです。今日はカール・ジマーマンさんをお迎えしています。カールさんは、Spirit AeroSystems社のコア品質監査員であり、IAQGの9102規格国際文書スポンサーでもあります。カールさん、ようこそ。 |
| Carl Zimmerman: | ありがとうございます。 |
| Susan Matson: | ありがとうございます。カール、共有したいニュースがあるそうですね。9102規格が改訂されました。改訂C、これは本当に素晴らしいことですね。 |
| Carl Zimmerman: | はい、規格の改訂には予想よりもかなり長い時間がかかりました。改訂プロセスと、すべてのコメントの確認に時間がかかりました。さらに、テクニカルライティングにも遅れが生じ、最終的に発行に至りました。 |
| Susan Matson: | 素晴らしい。9102規格が何なのかご存じないリスナーの方もいらっしゃると思いますので、その規格の概要と、それを適用する対象についてお話いただけますか？ |
| Carl Zimmerman: | 9102規格は、初回製品検査に関する規格です。9100の8.5.1.3項、つまり初回製品検査の実施に関する要求事項から派生したものです。したがって、9100を取得している航空宇宙OEMやサプライヤーがこの規格を使用しており、その要件に従って初回製品が9102規格に従って実施されています。また、医療分野でも使用されており、MROでも要件として規定されているわけではありませんが、要件を順守する一貫性のためにこの規格を使用しています。 |
| Susan Matson: | つまり、おそらく世界中でこの標準規格に触れている人は大勢いるでしょう。この改訂第5版が発表されてから、新たに改訂第C版が発表されるまでの間、これほどまでに注目を集めたわけですが、この2つの版の間で起こった重要な変更や出来事のいくつかについて、特に強調したいことはありますか？ |
| Carl Zimmerman: | そこで、文書全体を通していくつかの明確化を試みました。改訂で追加または変更された主な内容のいくつかをご紹介すると、特殊処理における初回品に代わる詳細なC of Cのオプションを追加しました。特殊処理業者による初回品の処理はあまり多くなく、業界では問題となっていました。多くの顧客が処理業者からCFCを受け取り、その後、初回品情報を自ら記入していました。 そこで、業界で実際に起こっていることに適合するものを追加し、もう少し構造化して、すべての特性をC of Cに文書化しなければ、特殊工程の初回製品に置き換えることができないという要件を追加しました。 |
| Carl Zimmerman: | また、唯一の単発生産に対する適用除外も削除しました。この適用除外は、非常に誤解や誤認を招きやすいものでした。唯一の単発生産の例として規格に挙げられていたものに、一度しか製造されない予備部品がありました。この適用除外をすべての予備部品に適用すると解釈する人もいたため、製造する予備部品すべてについて初回製品を製造しないという事態が生じていました。 |
| Carl Zimmerman: | また、初回品を回避するためにこれを利用する人もいました。私たちの会話の中で、サプライヤーから初回品のない部品を受け取った顧客がいるという例が挙がりました。3年契約で、その契約の部品はすべて1回の生産で製造したため、初回品を製造する必要がなく、唯一の単一生産品であると主張することができたのです。 |
| Carl Zimmerman: | それを見ると、初回品を免除するほど価値のあるものではないのに、それ以上に誤用されていることが分かりました。そこで、その唯一の単一実行の免除を削除することが決定されました。サプライヤーにとっては作業が増えるケースもありますが、全体的には、その条項を標準規格に含めない方が業界全体として一貫性があるという結論に達しました。 |
| Carl Zimmerman: | 風船の絵は、9102規格の最初の改訂版には実際に含まれていましたが、改訂Aでは削除され、改訂Bにも含まれていませんでした。しかし、フォーム以外の追加書類で顧客から常に要求されるものがないか確認したところ、ほとんどの顧客が風船の絵を期待していました。 |
| Carl Zimmerman: | 他のすべての顧客が要求している唯一の文書でした。 その文書はフォームの上位にあり、規格の要件ではありませんでした。 そこで、私たちはそれを要件として追加しました。つまり、9102の最初の改訂に戻って、規格の要件として追加したのです。 また、設計特性の定義を変更して仕様を除外するといった変更も行いました。 |
| Carl Zimmerman: | 完全なものに変更しました。完全でないものは誤解釈または誤解されていたのです。最初の記事が完成しているか、または最初の記事に不適合があるかという点についてです。そこで、単に「最初の記事に不適合があるか？」という表現に変更しました。はいまたはいいえで回答する形式です。 |
| Carl Zimmerman: | その他の変更点で大きな影響を与えたのは、フォームの適合性や機能に影響を与える可能性があるという表現が、変更によって特性が無効になるという表現に変更されたことです。 また、フォームにはいくつかの変更が加えられ、部品タイプに部分的な理由を追加し、一次審査を必須とし、フォーム2と3の署名欄が削除されました。 |
| Susan Matson: | 変更点が多いようですね。多くの人が、何が、どう変わったのかについて、もっと知りたいと思っている理由が分かりました。Rev Zのリリースに伴い、質問があります。公開されていることは知っていますが、世界中で公開されているのでしょうか？以前の会話で聞いたことがあるのですが。 |
| Carl Zimmerman: | 6月末にアメリカ大陸とヨーロッパで発行されました。アジア太平洋地域の標準規格については、現在も翻訳段階にあります。今後数か月以内に発行される予定ですが、まだ発行されていません。 |
| Susan Matson: | わかりました。その際には、その部門や地域に対して通知が送られるものと想定しています。 |
| Carl Zimmerman: | はい、そのようにします。 |
| Susan Matson: | 今おっしゃった変更点のすべてについて、そして、それはハイライトに過ぎないと思いますが、他にもありました。執筆チームは、この改訂版の作成にあたり、SEMHグループと連携して作業を行いました。また、チームのほとんどが、ガイダンス資料の作成も手伝ったと思います。これらの変更点については、その使用方法や、それらをどう扱うかについて、少し説明が必要だと思います。それについてお話いただけますか？ 利用可能な追加資料についてです。 |
| Carl Zimmerman: | ええ、基準を検討する過程で、基準に盛り込む必要があるもの、あるいは追加の指針が必要なものについて話し合った際のコメントを検討しました。 |
| Carl Zimmerman: | ですから、規格の策定を進める中で、規格に盛り込む必要があるもの、あるいは追加のガイダンスが必要なものとして、いくつかのコメントを処理しました。そして、9145が規格のさまざまなセクションの説明で用いたものと同様のマニュアルを作成すべきであるという結論に達しました。そして、セクションの意図を検討し、 |
| Carl Zimmerman: | さらに説明が必要であれば、マニュアルにも追加しました。そして、そのセクションにおけるベストプラクティスやよくある間違いを記載するようにしました。また、もうひとつ挙げられたのが、最初の記事の例でした。そこで、最初の記事のエンジニアリングパッケージを取り上げ、そのパッケージから最初の記事のフォームを作成し、そのフォームの記入方法を例示しました。2Dの例はすでに作成済みですが、3Dの例も作成する予定で、まだ完成していません。 |
| Susan Matson: | では、また後ほど。 |
| Carl Zimmerman: | はい。 |
| Susan Matson: | 素晴らしい。わかりました。少し前に、これらのアップデートや、特にSCMH PSCIグループ向けのガイダンス資料に関するウェビナーを開催されたと存じます。多くの質問がありましたね。それらの質問の中で、ここにコメントされていないものがあるでしょうか。それは、初品検査要件の使用について、人々が本当に必要としていることの最たるものと思われるためです。 |
| Carl Zimmerman: | ほとんどの人が懸念していたのは、移行期間について、新しいバージョンにいつまで対応していればよいのかを知りたいということでした。IAQGは認証規格ではないため、移行期間を定めていません。そのため、顧客と協力する必要があります。また、最初の品目ソフトウェアが新しいフォームに更新されるまでは、多くのサプライヤーが最初の品目ソフトウェアを使用しているため、移行できないという問題もあります。 |
| Carl Zimmerman: | 一部は顧客の移行時期に依存します。顧客が移行を完了し、ソフトウェア会社が新しいバージョンのソフトウェアで移行できるよう準備が整う時期は、すべての変更に対応できる時期によって異なります。 |
| Susan Matson: | つまり、時期は異なる可能性があるということです。 |
| Carl Zimmerman: | 時期は異なる可能性がある。 ええ。 サプライヤーによって異なる。 顧客と話していると、契約によっては、契約期間中は新しい改訂版に移行する必要がない場合もあります。契約が切れるまでは、実際にはリビジョンBのままにしておくことができます。ですから、それが懸念事項のひとつでした。 |
| Susan Matson: | 懸念を抱くのも無理はありません。新しい規格への移行に関して、他に懸念事項はありましたか？ |
| Carl Zimmerman: | ウェビナーで出た質問のいくつかは、仕様が設計特性の定義に含まれなくなったことで変更された設計特性の定義についてでした。 |
| Carl Zimmerman: | そのため、最初の記事で仕様特性を数える方法に変更が生じます。また、一部のOEMでは、規格の要件ではなくなったにもかかわらず、それらの特性を考慮するための追加要件を適用するでしょう。 |
| Carl Zimmerman: | 以前にも話題に上ったことですが、モデルベース定義の特性をどのように抽出するかについて、混乱が生じています。これは現在も懸念事項となっています。モデルベース定義の例を開発する必要がある理由のひとつは、FAIが完成していることです。ただ、まだ完成していません。 |
| Susan Matson: | ええ、そして、ご存知のように、標準とFAIプロセスによって推奨される優れた実践例について、私の次の質問に答えてください。ウェビナーで、あなたが経験した例について詳しくお話しになったことは存じています。ここで、優れた実践例について詳しくお話しいただけますか。 |
| Carl Zimmerman: | 私たちは、マニュアルを開発する際に、各セクションを順に確認し、ユーザーの理解を助ける追加のガイダンス、解釈、背景情報を探すようにしました。 また、私たちは、考えられる一般的な間違いや、各セクションにおけるベストプラクティスをすべて洗い出し、記載するようにしました。 |
| Carl Zimmerman: | ベストプラクティスは必須ではありませんが、業界で遭遇したもので、一部の企業で効果があったものです。当社のチームは多様性に富んでおり、業界内の問題やベストプラクティスのさまざまな事例を数多く見てきました。そのため、マニュアルの各セクションで文書化されたすべての情報を提供することができました。 |
| Carl Zimmerman: | ユーザーは、繰り返し見られる間違いや、一部の企業で実施されているベストプラクティスについて知ることができ、自社でも導入したいと思うかもしれません。 |
| Susan Matson: | そのマニュアルは、多くの人々にとって非常に有益なリソースとなりそうですね。では、今回の改訂版の開発のきっかけは何だったのでしょうか？特定の出来事があったのでしょうか？それとも、単に時間的な制約があったのでしょうか？ |
| Carl Zimmerman: | 5年ごとの見直しが予定されていたのです。そこで私たちはそれを見直しました。以前の改訂チームのメンバーの中には、それ以上続ける必要はないと考えていた人もいました。そして、それが最初に更新が必要となった記事規格でした。 |
| Carl Zimmerman: | 私はIAQGを通じてアンケートを送り、最初の記事規格に改訂が必要かどうかについて意見を求めました。おそらく更新が必要と思われる項目がいくつかありました。そのアンケート調査では、変更や更新、明確化が必要だと考えられるものについて、380件近いコメントが寄せられました。 それを受けて、私たちは改訂が必要であると判断し、その時点で改訂の計画を開始しました。 |
| Susan Matson: | 300件のコメントは、改訂プロセス中に繰り返し提起された懸念や、チームで対応しなければならなかった課題のようですね。 あなただけではないと思いますが、 |
| Carl Zimmerman: | リライト作業を進める中で、私たちチーム全体でそれに取り組みました。2019年10月にキックオフ会議を開いたのですが、その次の会議に入る前に新型コロナウイルスが猛威を振るいました。そのため、すべてをオンラインで実施することになりました。私たちのチームは本当に素晴らしかったです。会議を始めました。 |
| Carl Zimmerman: | 最初は月1回でしたが、その後週1回に変更しました。そして、私たちは会合を開きました。ほぼ毎週、週に2時間です。参加者はアメリカ国内だけでなく、ヨーロッパや日本、その他のアジア地域にもいました。時差があるためです。中には、週に2時間、ほぼ3年間、毎週この会合に参加し、夜9時や10時にログインして参加した人もいました。 |
| Carl Zimmerman: | チームは多大な努力を払いました。私たちがすべてを検討したことを確実にするために、すべてのコメントを精査し、解釈について考えられることはすべて議論しました。そうすることで、良い文書を作成できるのです。 |
| Susan Matson: | なんと、カール、私は知りませんでした。私たちのリスナーの多くも知らないでしょう。指摘すべきことは、これは皆さんの本業ではないということです。皆さんのチームのメンバーは全員、 9時から5時まで、あるいはその時間枠内で仕事をしている人たちです。しかし、IAQGはボランティアの参加者です。あなたが話しているこれらの人々は、私たちが何時間も何時間もかけている人たちですが、それは彼らの日々の業務に加えてのことですね。 |
| Carl Zimmerman: | はい、そうです。そして、彼らは多くの時間を費やし、これをやり遂げました。 |
| Susan Matson: | 皆さん、あなたも含めて、感謝と拍手を。これをまとめてくれてありがとう。コロナ禍の3年間で、すべてです。素晴らしい。さて、話を変えるつもりはないのですが、他のいくつかのことについて戻りたいと思います。 |
| Susan Matson: | これらはどのように受け止められているのでしょうか？ 3つのパートのうち2つはすでに発表されています。あなたが話していた、南北アメリカ、ヨーロッパ、アジア太平洋地域の3つのセクターについては、発表が間近に迫っています。 これらはどのように受け止められているのでしょうか？ あなたは先ほど、明確化と構造の追加、適用除外の廃止についてお話になりました。 バルーンを追加し、より一貫性を持たせる。 現場の反応はいかがですか？ |
| Carl Zimmerman: | 私が聞いた限りでは、概ね好意的に受け止められています。明確化を歓迎する意見が多いですね。少なくとも理解はできるという点を確実にしようとしました。以前は、顧客が基準をある方法で解釈し、 |
| Carl Zimmerman: | サプライヤーは別の解釈をしていました。提供されるものに対する期待が一致していなかったのです。私たちは、たとえ人々がその内容に同意しなくても、少なくとも明確であるようにしようと努力しました。そうすれば、顧客が異なる期待を持っている場合、それをサプライヤーに伝えることができ、契約上も可能になります。 |
| Carl Zimmerman: | そうすれば、部品を納入できる状態に達していないという事態を避けられます。 そして、突然、規格の解釈について意見の相違が生じます。 独自の単一ロット免除が削除されたことや、特定の仕様から設計特性を抽出することがもはや必要なくなったことを好ましく思わない人もいます。 |
| Carl Zimmerman: | しかし、少なくとも、それらの点とは異なることを望む顧客がいる場合、必要であれば契約でそれを反映できるようにしようとしました。そうすれば、サプライヤーは最初の製品の要件を満たすために何をしなければならないかを理解できます。 |
| Susan Matson: | さて、このすべての情報と、そして、あなたが話した規格自体がフォームになっています。マニュアルについても話しましたね。ウェビナーの主な変更点についても話し合いました。 これについて誰かが聞いた後、多くの人が「それらの資料はどこで見つかりますか？」と尋ねます。 そこで、私たちのリスナーに教えていただけますか？ IAQG.org にはいくつかの情報がありますし、SCMH にもいくつかの情報がありますが、それらの資料の入手先について詳しく教えていただけますか？ |
| Carl Zimmerman: | ええ、IAQGフォームの下に改訂C用の新しいフォームがあります。移行期間中は、まだ改訂Bのフォームを使用する人もいるでしょうから、現在は改訂Bのフォームを残してあります。9102規格の下に入ると、リソースのリンクがあり、そこには新改訂の主な変更点が記載されています。また、改訂BのFAQも掲載されています。それらの情報は規格またはマニュアルに組み込まれていますが、移行が完全に完了するまでは、人々は旧改訂のFAQに戻る必要があるかもしれません。 |
| Carl Zimmerman: | そのため、それらの FAQ をリビジョン B の FAQ としてマークし、リソースの下に残しました。最も多くの情報が掲載されているのは、SCMH セクション 3.2 の初回品検査に関する項目です。録画されたウェビナーも見つかります。そのセクションには、作成したマニュアルやこれまでに公開したサンプル FAI と一緒に掲載されています。 |
| Susan Matson: | 今後も追加される予定ですね？ 貴社チームが開発を継続するにつれ、それらはSCMHサイトで最も多く見つかるようになるでしょう。 |
| Carl Zimmerman: | その通りです。 |
| Susan Matson: | 念のため繰り返しますが、SCMHサイトにアクセスするには、SCMH.IAQG.orgです。これは、車種・モデルの下にあると思います。その通りですね、カール？ |
| Carl Zimmerman: | はい、その通りです。 |
| Susan Matson: | そして、メーカー・モデルの下に3.2があります。わかりました。他に何かお話したいことはありますか？C改訂版、9102、資料、チームについて話し合うべきことがまだ残っていませんか？何か聞き漏らしたことはありますか？ |
| Carl Zimmerman: | いいえ、改訂の成功の一因は、時間を割いて貢献してくれたチームの存在だと思います。また、私たちは多くの議論を重ねたため、チームの各メンバーがエキスパートとなり、それぞれの会社に持ち帰ってより多くの情報を持ち帰りました。業界全体に重要なリソースが存在するのです。チームの積極的な参加者であったすべての人々にとって、 |
| Carl Zimmerman: | 今では、彼らは自社や取引先のサプライヤーに説明することができ、セクションや疑問点について背景やより詳しい情報を提供することができます。今回の改訂では、標準を改訂し、指導資料を作成しただけでなく、業界全体で複数の専門家を育成し、各社で発生する問題の明確化を支援することができたと思います。 |
| Susan Matson: | はい。そしてカール、もうひとつ付け加えると、マニュアルやガイダンス資料では必ずしも明確にされていない質問がある場合に、それを聞くべき人々に対して、我々がすべきことがもうひとつあります。SCMHのサイトにいて、さらに質問がある場合は、各ガイダンス分野ごとにSCMHにいつでも連絡して情報を提供することができます。そうすれば、担当チームに直接届きます。 そうですね、カール？ そして、回答が返ってきます。 |
| Carl Zimmerman: | はい、その通りです。 |
| Susan Matson: | 素晴らしい。 カール、どうもありがとうございました。 こちらこそ、ありがとうございました。 今回の会話は有意義で、REV Cの変更についてさらに理解を深めることができました。 |
| Carl Zimmerman: | ありがとうございました、スーザン。 |
| Susan Matson: | また、お時間を割いていただき、私たちの話を聞いてくださり、9102規格と改訂Cについてさらに詳しくお聞きいただき、ありがとうございました。以上、IAQGクオリティホライズンをお聞きいただきました。次回まで、ご安全に。 |